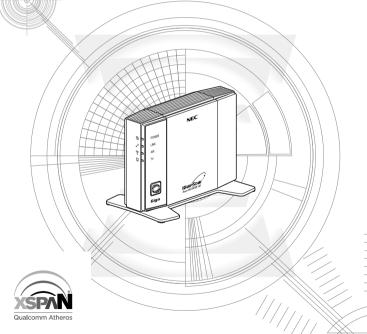
Aterm® WL300NE-AG

PA-WL300NE/AG

取扱説明書 第6版

ご使用の前に、本書を必ずお読みください。
また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

POWER
LINK
AIR
TV

XSPAN®
Qualcomm Atheros

技術基準適合認証品

はじめに

『Aterm（エーターム） WL300NE-AG』は、離れた場所※にあるイーサネット（LAN 端子）を持つ装置でも、無線 LAN アクセスポイント（親機）経由をすることでネットワークの利用を可能にするイーサネットコンバータ（変換装置）です。
※電波の届く範囲内でご利用ください。

ご利用いただける無線 LAN アクセスポイント（親機）についての最新情報は、別紙に記載のホームページをご確認ください。
本書では、本商品の設置･接続のしかたから、設定方法、困ったときの対処まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。
本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は、読んだ後も大切に保管してください。

- Aterm、WARPSTAR は、日本電気株式会社の登録商標です。
- らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。
- Windows、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows Vista はオペレーティングシステムです。
- Mac、Mac OS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Firefox® は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- QUALCOMM is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries.
  ATHEROS is a trademark of Qualcomm Atheros, Inc, registered in the United States and other countries.
- その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

⚠ 警　告　:人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注　意　:人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い　:本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号

発火注意　感電注意

■ 行為を禁止する記号

一般禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止　火気禁止

■ 行為を指示する記号

一般指示　電源プラグをコンセントから抜け

⚠ 警　告

電源

- AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  差込口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
  また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品の AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。

⚠ 警　告

電源

- ACアダプタは必ず本商品に添付のもの（ラベルに「AL1-001661-001」と記載されているもの）をお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

- ACアダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。

- 本商品添付のACアダプタは日本国内AC100V（50/60Hz）の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。

- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。また、ACアダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。

こんなときには

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別途示す修理受付先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別途示す修理受付先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別途示す修理受付先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別途示す修理受付先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。

⚠警　告

こんなときには

● 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別途示す修理受付先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

● 本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

● 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

● ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

● 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。

その他の注意事項

● 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

● 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤作動するなどの原因となることがあります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制御された場所では使用しないでください。

● 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。

● 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

● ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠注　意

設置場所

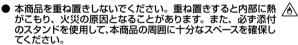
● 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

● 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

● 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり､火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

・ 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・ じゅうたんや布団の上に置く
・ テーブルクロスなどを掛ける

● 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、必ず添付のスタンドを使用して､本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。

● 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

⚠注　意

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電、故障の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。

- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

- 雷が鳴りだしたら、電源コード類に触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

- 取扱説明書にしたがって接続してください。
  間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、接続コードを外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

お願い

禁止事項

● 本体の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上間隔をあけてから電源を入れてください。
すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

日ごろのお手入れ

● 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
● ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
● 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

無線 LAN に関する注意

● 無線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
● 本商品は他社製品との相互接続性を保証しておりません。
● 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
● 5.2GHz、5.3GHz 帯域の屋外での使用は電波法により禁止されています。

その他注意事項

● 通信中に本商品の電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなり、データが壊れることがあります。重要なデータは元データと照合してください。
● 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。
プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、ETHERNET ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線 LAN アクセスポイント（親機）間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

ワイヤレス機器の使用上の注意

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- 本商品は、IEEE802.11n（5GHz）および IEEE802.11a 通信利用時は 5GHz 帯域の電波を使用しております。なお、5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波を屋外で使用することは電波法により禁じられています。
- W53（52/56/60/64ch）、W56（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
  - ・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
  - ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します。）が運用されています。
- IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4　DS/OF　4

2.4　：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF：DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4　：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

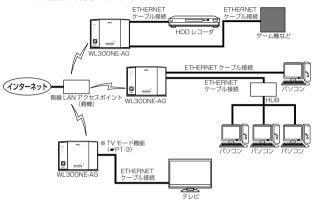
（1） 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2） 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3） その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別途示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

はじめにお読みください

WL300NE-AG を設置、接続する前に必ず確認しておきましょう。

1-1 WL300NE-AG でできること

本商品は、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g に対応したイーサネットコンバータタイプの無線 LAN 端末（子機）です。同じ無線 LAN 規格に対応した無線 LAN アクセスポイント（親機）と、離れたところから無線通信することができます。

※アドホック通信はご利用になれません。

- WL300NE-AG に接続する機器は、10 台以下でのご使用をお勧めします。
- ご利用いただける無線 LAN アクセスポイント（親機）についての最新情報は、別紙に記載のホームページをご確認ください。

■ IEEE802.11n または IEEE802.11a 通信で W52 帯、W53 帯、W56 帯対応

本商品は IEEE802.11n または IEEE802.11a 通信において W52 帯、W53 帯、W56 帯に対応しており、IEEE802.11nまたはIEEE802.11a通信をご利用の場合に、W52帯、W53 帯ではそれぞれ最大 4 チャネル、W56 帯では最大 11 チャネルがご利用になれます。

タイプ	チャネル	周波数帯域
W52	36, 40, 44, 48ch	5.2GHz 帯 (5150-5250MHz)
W53	52, 56, 60, 64ch	5.3GHz 帯 (5250-5350MHz)
W56	100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch	5.6GHz 帯 (5470-5725MHz)

ただし、W52 帯、W53 帯、W56 帯は使用している周波数帯／チャネルが異なるため通信できない組み合わせがあります。
以下の相互接続一覧表を参照のうえ、ご注意ください。
バージョンアップ対応機種などの最新情報は、別紙に記載のホームページなどでご確認ください。

無線 LAN 端末（子機）／無線 LAN アクセスポイント（親機）		WL300NE-AG （W52/W53/W56 対応） W52/W53/W56
W52/W53/W56 対応の 無線 LAN アクセスポイント（親機）	W52 W53 W56	◎
W52/W53 対応の 無線 LAN アクセスポイント（親機）	W52 W53	○
J52 対応の無線 LAN アクセスポイント（親機）で、W52 に対応した場合	W52	△
J52 対応の 無線 LAN アクセスポイント（親機）	J52	×

◎：W52 帯（5150-5250MHz）、W53 帯（5250-5350MHz）、W56 帯（5470-5725MHz）を使用して、最大 19 チャネルから選択が可能です。

○：W52 帯（5150-5250MHz）、W53 帯（5250-5350MHz）を使用して、最大 8 チャネルから選択が可能です。

△：W52 帯（5150-5250MHz）を使用して、最大 4 チャネルから選択が可能です。

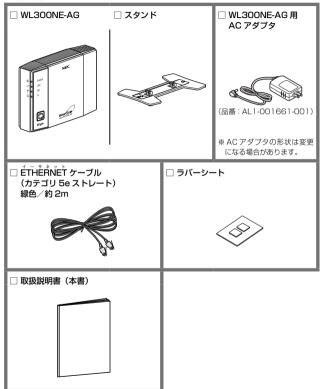
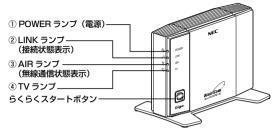
×：利用不可

■ TV モード機能に対応

TV モードに対応した無線 LAN アクセスポイント（親機）に無線接続し、安定したストリーミング画像を視聴することができます。
TV モード機能をご利用になる場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）に無線接続する際、本商品背面の 5GHz/2.4GHz 優先接続切替スイッチを「5G」側に切り替えたうえで、らくらく無線スタートで設定してください。（☛P3-3）
無線接続後、TV ランプが緑点灯すれば、TV モード機能を利用することができます。

1-2 添付品を確認する

設置を始める前に、添付品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別途示すお問い合わせ先にご連絡ください。

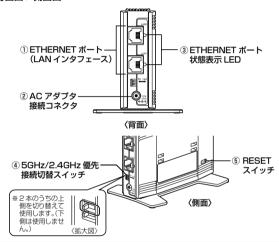
● 構成品

1-3 各部の名前とはたらき

【ランプ表示】

ランプの種類	点灯状態		WL300NE-AG の状態
①POWER ランプ（電源）	緑	点灯	電源が入っているとき
		点滅	らくらく無線スタートで設定をしているとき（☛P3-3）
	橙	点灯	ファームウェアをバージョンアップしているとき
			らくらく無線スタートの設定が完了したとき
		点滅	らくらく無線スタートで設定をしているとき（☛P3-3）
	赤	点灯	らくらく無線スタートの設定が失敗したとき
		点滅	初期化準備状態のとき
	消灯		電源が入っていないとき
②LINK ランプ（接続状態表示）	緑	点灯	2.4GHz モードで、無線アクセスポイント（親機）とのリンクが確立しているとき　※ 1
	橙	点灯	5GHz モードで、無線アクセスポイント（親機）とのリンクが確立しているとき　※ 2
	消灯		無線 LAN アクセスポイント（親機）とのリンクが確立されていないとき
③AIR ランプ（無線通信状態表示）	緑	点灯	電波強度が「強」で、通信可能なとき
		点滅	電波強度が「強」で、データ送受信しているとき
	橙	点灯	電波強度が「普通」で、通信可能なとき
		点滅	電波強度が「普通」で、データ送受信しているとき
	赤	点灯	電波強度が「弱」で、通信可能なとき
		点滅	電波強度が「弱」で、データ送受信しているとき
			WL300NE-AG の DHCP サーバが動作しているとき
	消灯		電波が届いていないとき
			無線 LAN 接続設定がされていないとき
④TV ランプ	緑点灯		5GHz モードかつ拡張モード（初期値）で無線 LAN アクセスポイント（親機）とのリンクが確立しているとき　※ 2

※ 1　2.4GHz モードは IEEE802.11g+b（+11n）モードです。
※ 2　5GHz モードは IEEE802.11a（+11n）モードです。

【設定ボタン】

名　称	説　明
らくらくスタートボタン	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。（☛P3-3） クイック設定 Web で設定を行う際、DHCP サーバ機能を動作させるときに使用します。（☛P3-9）

● 背面図 / 側面図

名　称	説　明	
①ETHERNET ポート（LAN インタフェース）	パソコンやゲーム機、TV、HDD レコーダなどと接続します。	
②AC アダプタ接続コネクタ	WL300NE-AG 用 AC アダプタを接続します。	
③ETHERNET ポート状態表示 LED	緑（点灯）	ETHERNET ポートのリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	ETHERNET ポートがデータ送受信しているとき
	消灯	ETHERNET ポートのリンクが確立していないとき
④5GHz/2.4GHz 優先接続切替スイッチ	らくらく無線スタートで無線接続する際、優先的に 5GHz または 2.4GHz に接続するときに使用します。 「5G」側に設定：5GHz モードに優先的に接続します。 「2.4G」側に設定：2.4GHz モードに優先的に接続します。 ※ TV モードを利用する際は、本スイッチを「5G」側に設定してください。安定したストリーミング画像が視聴できます。 ※ 工場出荷時は、「5G」側です。	
⑤RESET スイッチ	初期化するときに使用します。（☛P6-4）	

1-4 あらかじめ確認してください（パソコンをご利用の場合）

パソコンなどの接続機器の確認

お使いのパソコンがWL300NE-AGをご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- **WWWブラウザの設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっていること（☛P1-8）**
- **ETHERNET（イーサネット）ポート（LANポート）を装備していること**
  お使いのパソコンにETHERNETポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、1000BASE-T／100BASE-TX／10BASE-T対応のLANボードまたはLANカードを取り付けておいてください。
- **TCP/IPプロトコルスタックに対応していること**
  必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。
- **パソコンのネットワークの設定を確認すること（☛P3-7）**
- **WWWブラウザ（クイック設定Web）で設定を行う場合は、JavaScriptの設定を有効にすること（☛P1-9）**

WWWブラウザのバージョンを確認する

WL300NE-AGは、以下のWWWブラウザで設定できます。

＜設定できるWWWブラウザ＞

■ Windows 8の場合
Internet Explorer 10.0に対応
Firefox 15.0に対応
Google Chrome 21に対応

■ Windows 7の場合
Internet Explorer 8.0に対応

■ Windows Vistaの場合
Internet Explorer 7.0/8.0に対応
Firefox 3.0に対応
Opera 9.64に対応

■ Windows XPの場合
Internet Explorer 7.0/8.0に対応
（Windows XP Service Pack 2または3の場合）
Firefox 3.0に対応
Opera 9.64に対応

■ Windows 2000 Professionalの場合
Internet Explorer 6.0 SP1に対応
Firefox 3.0に対応
Opera 9.64に対応

■ Mac OS X v10.3/v10.4/v10.5の場合
Safari 3.2に対応（v10.4/v10.5の場合）
Safari 1.3に対応（v10.3の場合）
Firefox 3.0に対応（v10.4/v10.5の場合）
Opera 9.64に対応

※ 指定以外のブラウザを使用する場合、表示・設定で正しく動作しない場合があります。
正しくご利用いただくためには指定のブラウザでご使用ください。

WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。
以下は Windows 7 で Internet Explorer 8.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカにお問い合わせください。

① Internet Explorer を起動する。
※ Windows 8 の場合は、[スタート] 画面の [デスクトップ] 上で起動してください。
② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
③ [接続] タブをクリックする。
④ ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択する。
※グレーアウトしている場合は、⑤へお進みください。

⑤ [LAN の設定] をクリックする。
⑥ [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LAN にプロキシサーバーを使用する] の ☑ を外して [OK] をクリックする。
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。

⑦ [OK] をクリックする。

JavaScript の設定を確認する

WWWブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript を「有効にする」に設定してください。

Windows で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Windows 7 で Internet Explorer 8.0 を使用している場合の例です。なお、Windows Vista および Windows 8/XP/2000 Professional で設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

1. ［スタート］(Windows のロゴボタン) －［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［インターネットオプション］をクリックする

   ※ Windows 8 の場合は、［スタート］画面で右クリックして［すべてのアプリ］をクリックし、［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［インターネットオプション］をクリックします。

   ※ Windows Vista または Windows XP をご利用の場合は、［スタート］（Windows のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［クラシック表示］（または［クラシック表示に切り替える］）－［インターネットオプション］をクリックします。

   ※ Windows 2000 Professional の場合は、［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［インターネットオプション］をダブルクリックします。

2. ［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする

3. ［サイト］をクリックする

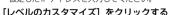
4. ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする］のチェックを外す

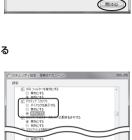
（次ページに続く）

5 ［このWebサイトをゾーンに追加する］に「http://192.168.0.240/」を入力し、［追加］をクリックして、［閉じる］をクリックする

※ Internet Explorer 6.0をご使用の場合は、［次のwebサイトをゾーンに追加する］に[http://192.168.0.240/]を入力し、［追加］をクリックして、［OK］をクリックします。

※本商品のIPアドレスを変更した場合は、設定したIPアドレスを入力してください。

6 ［レベルのカスタマイズ］をクリックする

7 画面をスクロールし、［アクティブスクリプト］と［ファイルのダウンロード］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする

※「このゾーンの設定を変更しますか？」の画面が表示された場合は、[はい]（または［はい］－［適用]）をクリックしてください。

8 ［OK］をクリックする

Windows で Firefox をご利用の場合

以下は、Windows Vista で Firefox 3.0 を使用している場合の例です。

1. Firefox を起動する
2. メニューバーの［ツール］－［オプション］をクリックする
3. ［コンテンツ］をクリックする
4. ［JavaScript を有効にする］にチェックを入れる
5. ［OK］をクリックする

Mac OS で Safari をご利用の場合

以下は、Mac OS X v10.4 で Safari 3.2 を使用している場合の例です。

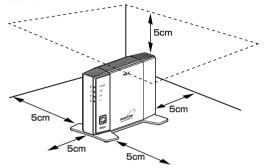
1. Safari を起動する
2. メニューバーの［Safari］－［環境設定］をクリックする
3. ［セキュリティ］をクリックする
4. ［JavaScript を有効にする］にチェックを入れる

5. メニューバーの［Safari］から［Safari を終了］をクリックし、Safari を終了させる

2

設置・接続

2-1 設置する

本商品は、前後左右 5cm 、上 5cm 以内に、パソコンや壁などのものがない場所に設置してください。

⚠ 警　告

AC アダプタを接続および設置する際は、以下のことにご注意ください。

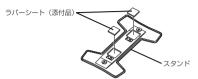
- 必ず本商品に添付のもの（ラベルに「AL1-001661-001」と記載されているもの）をお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは他の製品に使用しないでください。
- 風通しの悪い場所に設置しないでください。
- AC アダプタに物をのせたり布を掛けたりしないでください。
- たこ足配線にしないでください。

⚠ 注　意

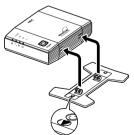
- 狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり火災の原因となることがあります。
- 本商品の上に物を置いたり、重ね置きはしないでください。
- 本商品を壁掛けで使用しないでください。

縦置きの場合

1 ラバーシート（添付品）をスタンド裏面に貼り付ける

ラバーシート（添付品）表面のフィルムは、設置後にはがしてご使用ください。

- ●ラバーシート（添付品）は設置のための仮固定用であり、固定を保証するものではありません。過度の荷重を加えたり、ケーブルを引っ張ったりした場合に設置した床から離脱する恐れがあります。
- ●ほこり・ゴミなどがラバーシート（添付品）に付着すると床への密着強度が減少します。その場合には中性洗剤や水にてほこり・ゴミなどを洗い流してください。洗浄にて密着強度が増します。洗浄の際には、スタンドを本体から取り外してください。
- ●ラバーシート（添付品）をご使用にならない場合には、お子様の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合には医師の診断を受けてください。

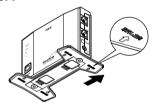
2 スタンドを本体底面に差し込む

スタンドの▲マークが本体前面方向（ランプ側）になるようにして、スタンドの凸部を本体底面のスタンド用取り付け穴に差し込みます。

（次ページに続く）

3 **スタンドを矢印の方向にスライドする**

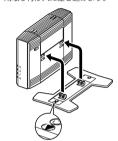
「カクッ」という感触があるまでスライドしてください。

スタンドを外す場合は

図のように、スタンドをスタンド裏面の「取外し方向」(本体の背面側)へスライドさせて、取り外してください。

横置きの場合

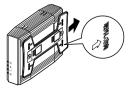
1 **ラバーシート（添付品）をスタンド裏面に貼り付ける（☛P2-3 の手順 1 参照）**

2 **スタンドを本体側面に差し込む**

スタンドの▲マークが本体前面方向（ランプ側）になるようにして、スタンドの凸部を本体側面のスタンド用取り付け穴に差し込みます。

3 **スタンドを矢印の方向にスライドする**

「カクッ」という感触があるまでスライドしてください。

! スタンドを外す場合は

図のように、スタンドをスタンド裏面の「取外し方向」（本体の背面側）へスライドさせて、取り外してください。

お願い

●本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因になったり、そのまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
●通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

【例】
●本商品の上に物を置いたり、重ね置きしないでください。

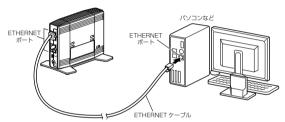
お知らせ

●無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。
●無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）は 1m 以上離してお使いください。
●本商品は、アンテナが内蔵されています。設置位置により十分な通信特性が得られない場合があります。

2-2 無線利用したい装置と接続する

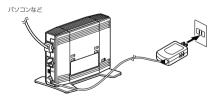
WL300NE-AG を STB、パソコンまたはゲーム機などに接続します。

1 パソコンなどの電源を入れておく

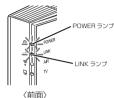
2 WL300NE-AG の ETHERNET ポートとパソコンなどの ETHERNET ポートを ETHERNET ケーブルで接続する

3 WL300NE-AG 用 AC アダプタのプラグを WL300NE-AG に接続する

※AC アダプタは必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは他の製品に使用しないでください。

4 WL300NE-AG 用 AC アダプタを電源コンセントに接続する

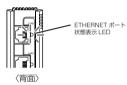
（次ページに続く）

5 WL300NE-AG の POWER ランプが緑点灯することを確認する

※無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線接続されていると、しばらくして LINK ランプが点灯します。3 章の設定が完了するまでは LINK ランプは点灯しません。（☛P1-5）

〈前面〉

6 手順 2 で接続した WL300NE-AG 背面の ETHERNET ポート状態表示 LED が緑点灯することを確認する

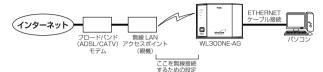
〈背面〉

お知らせ

●無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源は、あらかじめ入れておいてください。

3 無線 LAN に接続する

3-1 無線設定の手順について

WL300NE-AG を無線 LAN アクセスポイント（親機）に無線接続するには、無線 LAN アクセスポイント（親機）の無線設定内容を WL300NE-AG に設定します。

設定方法は、次のとおりです。

● **無線 LAN アクセスポイント（親機）がらくらく無線スタート に対応している場合**
　→ 「らくらく無線スタート」でボタン操作のみで簡単に設定することができます。

● **無線 LAN アクセスポイント（親機）がらくらく無線スタートに対応していない場合**
　→ パソコンなどから WWW ブラウザ（クイック設定 Web）で設定します。

※ご利用の無線 LAN アクセスポイント（親機）がらくらく無線スタートに対応しているかどうかは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付の取扱説明書（「つなぎかたガイド」など）を参照してください。

なお、WL300NE-AG を初期化した場合は、無線設定が初期化されますので、ここで再設定を行ってください。

3-2 らくらく無線スタートで無線設定する

ここでは WL300NE-AG と無線 LAN アクセスポイント（親機）をらくらく無線スタートで無線接続する場合について説明しています。

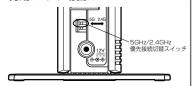
らくらく無線スタートで設定を行う場合のご注意

- **無線 LAN アクセスポイント（親機）側に暗号化の設定がされていることが必要です。**
  → 暗号化設定されていないと、らくらく無線スタートでの設定はできません。（P3-4 の手順 3 の段階で失敗します。）
- **無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を使用している場合は、エントリを制限数いっぱいに登録しないようにしてください。**
  → 無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を使用している場合、WL300NE-AG の MAC アドレスを事前に登録していなくても、らくらく無線スタートでの設定で自動的に登録されますが、制限数いっぱいに登録していると、らくらく無線スタートでの設定はできません。(P3-4の手順3の段階で失敗します。)
- **無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応した WD600 シリーズの場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の開閉カバーを開け、ディップスイッチの 1、2 を「ON」側にしてから、らくらく無線スタートでの設定を行ってください。**

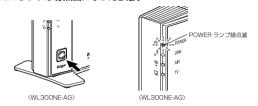
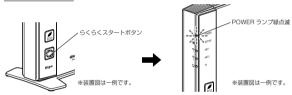
  DIP SW 1 2 3 4 ON OFF

  ※ WD600 シリーズのディップスイッチがすべて「OFF」側の状態でらくらくスタートボタンを押すと、初期化準備状態となり、らくらく無線スタートでの設定は行えませんので、ご注意ください。
  ※ ディップスイッチは、細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で根元に力を加えて、倒してください。
  ※ らくらく無線スタートでの設定が完了したら、ディップスイッチは元に戻してください。
  ※ WD600 シリーズはプロバイダ／接続事業者からのご購入またはレンタルによるご提供の商品です。
- **らくらく無線スタートでの設定中は、無線 LAN アクセスポイント（親機）では無線 LAN 通信ができませんので、ご注意ください。らくらく無線スタートでの設定完了後、無線 LAN 通信が可能になります。**
- **らくらく無線スタートでの設定が失敗した場合は、WL300NE-AG を初期化してから（☛P6-3）設定し直してください。**
- **WL300NE-AG の DHCP サーバ機能が動作中(☛P3-9)は、らくらく無線スタートでの設定はできません。**

TV モード機能をご利用になる場合は

本商品背面の「5GHz/2.4GHz 優先接続切替スイッチ」を「5G」側に切り替えてください。

1 WL300NE-AG の電源が入っていない場合は、電源を入れてから 30 秒以上待つ

2 WL300NE-AG 側面のらくらくスタートボタンを長押しして、前面の POWER ランプが緑点滅になったら離す

〈WL300NE-AG〉　〈WL300NE-AG〉

3 無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長押しして（約 6 秒）、POWER ランプが緑点滅になったら離す

〈無線 LAN アクセスポイント（親機）〉　〈無線 LAN アクセスポイント（親機）〉

※らくらくスタートボタンの位置や形状は、装置によって異なります。無線 LAN アクセスポイント（親機）の取扱説明書などで確認してください。

※POWER ランプは、装置によっては電源ランプと呼ぶ場合があります。

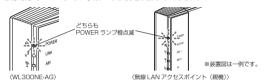
POWER ランプが緑点滅せず、約 10 秒間赤点灯した場合

らくらく無線スタートに失敗しています。

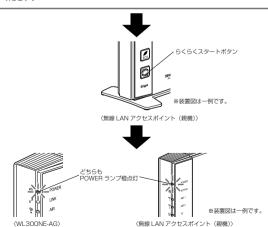
無線 LAN アクセスポイント（親機）側で、暗号化が設定されていない場合は暗号化を設定し、MAC アドレスフィルタリングのエントリが制限数いっぱいに登録されている場合は登録を 1 個削除してください。無線 LAN アクセスポイント（親機）側の設定が済んだら、WL300NE-AG を初期化（☛P6-3）し、手順 2 から設定し直してください。

4 しばらく待って、無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL300NE-AG の POWER ランプ両方が橙点滅に変わったら、もう一度無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長押しして、無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL300NE-AG の POWER ランプ両方が橙点灯になったらボタンを離す

POWER ランプは約 10 秒間橙点灯したあと、緑点灯に戻ります。
POWER ランプが赤点灯した場合は（約 10 秒）、設定に失敗しています。WL300NE-AG を初期化（☛P6-3）し、手順 2 から設定し直してください。

〈WL300NE-AG〉　〈無線 LAN アクセスポイント（親機）〉

❗ どちらか片方しか POWER ランプが橙点滅しない場合

他の無線 LAN アクセスポイント（親機）または無線 LAN 端末（子機）と設定を行おうとしている場合があります。しばらくして POWER ランプが赤点灯（約 10 秒）したら、WL300NE-AG を初期化（☛P6-3）し、手順 2 から設定し直してください。

〈WL300NE-AG〉　〈無線 LAN アクセスポイント（親機）〉

5 WL300NE-AG の LINK ランプが緑または橙点灯することを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線通信が確立すると LINK ランプが緑または橙点灯します。

・2.4GHz モード通信時……………緑点灯
・5GHz モード通信時………………橙点灯

〈WL300NE-AG〉

お願い

●WL300NE-AG をらくらく無線スタートで設定後、LINK ランプが点灯しているにもかかわらず WL300NE-AG に接続したパソコンからインターネットに接続できない場合は、次の手順で ETHERNET ケーブルを接続し直してください。
① WL300NE-AG とパソコンを接続している ETHERNET ケーブルを取り外す
② WL300NE-AG の電源を切る
③ WL300NE-AG とパソコンを ETHERNET ケーブルで接続する
④ WL300NE-AG の電源を入れる
⑤ LINK ランプが点灯することを確認する

お知らせ

●無線 LAN アクセスポイント（親機）側で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を「有効」に設定している場合でも、らくらく無線スタートでの設定をすることができます。

3-3 WWW ブラウザから無線設定する

パソコンの IP アドレスを確認する

WL300NE-AG を ETHERNET ポートに接続したパソコンから設定する際には、Windows の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac の場合は「DHCP サーバを参照」に設定します。WL300NE-AG の設定後は、使用するネットワーク体系にあわせて IP アドレス / ネットマスクの設定を行ってください。

Windows Vista および Windows 8/7 の場合

1. [スタート](Windows のロゴボタン)－[コントロールパネル]を選択する
   ※ Windows 8 の場合は、[スタート]画面上で右クリックして[すべてのアプリ]をクリックし、[アプリ]画面にある[コントロールパネル]をクリックします。
2. [ネットワークとインターネット]－[ネットワークと共有センター]をクリックし、[アダプターの設定の変更]をクリックする
   ※Windows Vista の場合は、[ネットワークとインターネット]－[ネットワークと共有センター]をクリックし、[タスク]欄の[ネットワーク接続の管理]をクリックします。
3. [ローカルエリア接続](または[イーサネット接続])を右クリックし、[プロパティ]をクリックする
4. ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックする
5. [インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]をクリックする

(画面は Windows 7 の場合の例です。)

6. [IP アドレスを自動的に取得する]と[DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択する
7. [OK]をクリックする
8. [閉じる]または[OK]をクリックする

お知らせ

- Windows Vista および Windows 8/7 の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows 8/7 の通常表示モード(カテゴリ表示)、Windows Vista の通常表示モード(コントロールパネルホーム)を前提に記述しています。

Windows XP の場合

1 [スタート] ー [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする

3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする

5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する

6 [OK] をクリックする

7 [OK] または [閉じる] をクリックする

お知らせ

●Windows XP の設定により表示内容が異なる場合があります。
●ここでは、Windows XP の通常表示モード（カテゴリー表示）を前提に記述しています。

WWW ブラウザで設定する

ここでは、クイック設定 Web（WWW ブラウザ）で WL300NE-AG のみの無線設定を行う場合の設定方法を説明しています。

クイック設定 Web の起動のしかた

■ WL300NE-AG の DHCP サーバ機能を起動する

1 **WL300NE-AG から AC アダプタのプラグをいったん外し、約 10 秒待つ**

2 **WL300NE-AG 側面のらくらくスタートボタンを押しながら、AC アダプタのプラグを接続し、AIR ランプが赤点滅したら、らくらくスタートボタンを離す**

無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線接続はいったん切断されます。
WL300NE-AG の DHCP サーバが起動します。

■クイック設定 Web を起動する

3 **パソコンなどを起動する**

4 **WWW ブラウザを起動し、WL300NE-AG の IP アドレスを入力し、設定画面を開く（工場出荷時は 192.168.0.240 です）**

例：http://192.168.0.240/

WWW ブラウザの設定画面が表示されない (☛P5-2)

（次ページに続く）

5 **右の画面が表示された場合は、画面にしたがって管理者パスワード（任意の文字列）を決めて、下の控え欄に記入する**

●管理者パスワードは、WL300NE-AG を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。
忘れた場合は設定画面を開くことができず、初期化してすべての設定を最初からやり直しになります。

管理者パスワード控え欄	

6 **手順 5 で控えた管理者パスワードを画面に入力し、［設定］をクリックする**

※一度設定すると、次回からは、この画面は出なくなります。

7 **「ユーザー名」（上段）に「admin」を、「パスワード」（下段）に手順 5 で控えた管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

（ユーザ名は、半角小文字で入力してください。）
クイック設定 Web が表示されます。

（画面は Windows 7 の場合の例です。）

クイック設定 Web で無線設定する

1 **クイック設定 Web を起動する（☛P3-9）**

2 **「基本設定」を選択する**

3 ［ネットワーク名(SSID)］に無線ネットワーク内で使用するネットワーク名（SSID）を入力する

使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を確認しておいてください。

※無線 LAN アクセスポイント（親機）として WARPSTAR を使う場合、工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面のラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXX は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。

※装置図およびラベルは一例です。

※装置図およびラベルは一例です。

※装置図およびラベルは一例です。

［アクセスポイント検索］をクリックして［アクセスポイント検索］画面を表示してネットワーク名（SSID）を選択することもできます。

① ［アクセスポイント検索］画面で接続するネットワーク名（SSID）を選択する
② ［選択］をクリックする

（次ページに続く）

4 無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定に合わせて暗号化の設定を行う

無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化設定をしていない場合は、暗号化の設定を行うことをお勧めします。

→ 無線 LAN アクセスポイント（親機）にパソコンを接続し、無線 LAN アクセスポイント（親機）の取扱説明書などを参照して、暗号化を設定したあとに、P3-7 から設定してください。

→ 無線 LAN アクセスポイント(親機)の暗号化設定が不明の場合や忘れてしまった場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）にパソコンを直接接続し、無線 LAN アクセスポイント（親機）の取扱説明書などを参照して、設定を確認してください。

→ 無線 LAN アクセスポイント(親機)に暗号化設定をしない場合は、[暗号化モード］で［暗号化無効］を選択し、手順 5 にお進みください。

■暗号化モードで TKIP、または AES を使用する場合

①［暗号化モード］で使用する暗号化モードを選択する

※IEEE802.11nでは、[WPA-PSK(TKIP)]、[WPA2-PSK(TKIP)]は使用できません。

②［指定方法］を選択し、［暗号化キー］を入力する

暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号、または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8 ～ 63 桁の場合】

英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

!	%	)	-	;	?	]	{
”	&	*	.	<	@	^	|
#	’	+	/	=	[	_	}
$	(	,	:	>	\	`	~

※「?」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。

※「\」（バックスラッシュ）は、パソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】

16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）

■暗号化モードで WEP を使用する場合

①[暗号化モード］で［WEP］を選択する
　※ IEEE802.11n では、WEP はご利用になれません。

②暗号強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する
　「64bit」（弱）＜「128bit」＜「152bit」（強）の順で強い暗号がかかります。

③[指定方法］で［英数記号］または［16 進］を選択する
　※指定した暗号強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。

④[使用する暗号化キー番号］を 1 番～ 4 番で選択する

⑤[暗号化キー］は③で指定した方法で入力する

暗号化キーの入力例:
[128bit]の場合(英数記号／13桁)
0123456789ABC

　※[英数記号］→英数字（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z）と下記の記号
　（ただし、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては、下記の記号は使用できません。）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>?</td><td>]</td><td>{</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>＊</td><td>.</td><td><</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
</table>

※「?」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。
※「\」（バックスラッシュ）は、パソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

　[16 進］→ 16 進表記（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）

5 ［設定］をクリックする

6 ［OK］をクリックする

7 ［保存］をクリックする

8 ［メンテナンス］－［再起動］を選択する

9 ［再起動］をクリックする

10 ［OK］をクリックする

（次ページに続く）

11 WL300NE-AG の LINK ランプが緑または橙点灯することを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線通信が確立すると LINK ランプが緑または橙点灯します。

・2.4GHz モード通信時……………緑点灯

・5GHz モード通信時………………橙点灯

重要

パソコンの IP アドレスを変更した場合は、WL300NE-AG の設定を終了したあとは、パソコンの IP アドレスをお使いのネットワーク環境（ルータなど）に合わせて設定してください。

3-4 通信する

設定が完了したら実際にインターネットに接続するなどして WL300NE-AG に接続したパソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）へ通信ができることを確認してください。

1 WWW ブラウザを起動する

2 外部のホームページを開く

例）ホームページ AtermStation：http://121ware.com/aterm/

! 無線 LAN アクセスポイント（親機）で MAC アドレスによる接続制限を行う場合

無線 LAN アクセスポイント(親機)で MAC アドレスによる接続制限(MAC アドレスフィルタリング）を行う場合、WL300NE-AG の無線クライアントモードによって次のように設定してください。

< WL300NE-AG の無線クライアントモードが標準モードまたは拡張モードの場合>

WL300NE-AG の底面に記載されている無線の MAC アドレスを登録することで無線接続する他の無線 LAN 端末（子機）を制限できます。

< WL300NE-AG の無線クライアントモードが MAC クローンモードの場合>

WL300NE-AG の底面に記載されている無線の MAC アドレスと WL300NE-AG に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスをすべて登録してください。

→ WL300NE-AG では、接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末の MAC アドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時は MAC アドレスを最初の端末のものに変換します。

このため、無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、LINK ランプが消灯し、WL300NE-AG に接続しているすべての端末が無線接続できなくなります。（WL300NE-AG の電源を入れたときに MAC アドレスを登録された端末が接続されていない場合も、無線接続できなくなります。）

なお、既に LINK ランプが点灯している WL300NE-AG に、MAC アドレスが未登録の端末を接続した場合は通信が可能です。

4 本商品の詳細設定

4-1 WL300NE-AG の詳細設定について

WWW ブラウザでクイック設定 Web を起動し、WL300NE-AG の詳細な設定を変更することができます。
※お使いの WWW ブラウザによっては表示される画面が異なる場合があります。

クイック設定 Web の起動のしかた

クイック設定 Web で設定を変更する場合は、次の方法で起動します。

■ DHCP サーバ機能を起動する

1. **WL300NE-AG から AC アダプタのプラグをいったん外し、約 10 秒待つ**
2. **WL300NE-AG 前面のらくらくスタートボタンを押しながら、AC アダプタのプラグを接続し、AIR ランプが赤点滅したら、らくらくスタートボタンを離す**

   無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線接続はいったん切断されます。
   WL300NE-AG の DHCP サーバが起動します。

■クイック設定 Web を起動する

3. **パソコンなどを起動する**
4. **WWW ブラウザを起動し、WL300NE-AG の IP アドレスを入力し、設定画面を開く（工場出荷時は 192.168.0.240 です）**

   例：http://192.168.0.240/
   IP アドレスを変更した場合は、変更したアドレスを入力します。

   WWW ブラウザの設定画面が表示されない（☛P5-2）

5. **「ユーザー名」（上段）に「admin」を、「パスワード」(下段)にP3-10の手順5で控えた管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

   （ユーザ名は、半角小文字で入力してください。）
   クイック設定 Web が表示されます。

（画面はWindows 7の場合の例です。）

お知らせ

●クイック設定 Web での設定登録が終わったら、［メンテナンス］－［再起動］で WL300NE-AG を再起動してください。DHCP サーバ機能を停止します。

設定項目について

ここではそれぞれの項目で何が設定できるのかを説明しています。
設定の変更が必要な場合は、それぞれの画面で設定を行ってください。

! *設定の登録のしかた*

それぞれのページで［設定］をクリックしたあと、［保存］をクリックすることにより設定内容を WL300NE-AG に書き込みます。
※ 設定登録後は、[メンテナンス］－［再起動］で WL300NE-AG を再起動してください。DHCP サーバ機能を停止します。

【基本設定】

ネットワーク名（SSID）や、暗号化を設定します。
詳細については、P3-11、P3-12 を参照してください。

【詳細設定】

<ネットワーク設定>

IP アドレス　：WL300NE-AG の IP アドレスを入力します。（初期値 192.168.0.240）
ネットマスク：サブネットマスクを設定します。

<無線 LAN 設定>

無線クライアントモード：無線クライアントモードを選択します。（初期値：拡張モード）
［拡張モード］では、拡張クライアントモードに対応した無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続することで、WL300NE-AG に接続されたパソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）の持つ IPv6 ブリッジ機能や PPPoE ブリッジ機能を使った通信が可能になります。なお、接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）が拡張クライアントモードに対応していない場合は、標準モードで動作します。
［標準モード］では、WL300NE-AG の MAC アドレスで無線接続します。
［MAC クローンモード］では、WL300NE-AG に最初に接続されたパソコンの MAC アドレスで無線接続します。

送信出力：送信出力を調整します。（初期値：100%）
［100%］/［50%］/［25%］/［12.5%］から選択します。

【メンテナンス】－［管理者パスワードの変更］

管理者パスワード（パスワード）を設定できます。（初期値：空欄）
使用できる文字は半角英数字、－（ハイフン）、_（アンダースコア）で、64 文字以内です。

【メンテナンス】－［設定値の初期化］

［設定値の初期化］をクリックすると WL300NE-AG の設定が初期値（☛P6-5）に戻ります。

【メンテナンス】－［ファームウェア更新］

WL300NE-AG のバージョンアップができます。
詳細については、P6-2 を参照してください。

【メンテナンス】－［再起動］

WL300NE-AG の再起動を行います。
再起動を行う場合は、［再起動］をクリックしてください。

設定を変更した場合は、再起動を行う前に設定を保存しないと設定内容が失われます。

【情報】－［現在の状態］

WL300NE-AG の無線 LAN 通信状態、ネットワーク情報、装置情報が表示されます。
画面は 30 秒ごとに自動更新されます。

<無線 LAN 通信状態>

通信状態	：無線の通信状態が表示されます。
ネットワーク名（SSID）	：無線 LAN のネットワーク名（SSID）が表示されます。
無線動作モード	：現在使用中の無線動作モードが表示されます。
使用チャネル	：現在接続している無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定チャネルが表示されます。
受信強度	：無線電波の受信強度が表示されます。
リンクアップ速度	：リンクアップ速度が表示されます。
暗号化	：使用している暗号化モードが表示されます。

<ネットワーク情報>

IP アドレス	：WL300NE-AG の IP アドレスが表示されます。
ネットマスク	：WL300NE-AG のネットマスクが表示されます。

<装置情報>

ファームウェアバージョン	：WL300NE-AG のファームウェアのバージョンが表示されます。
MAC アドレス（無線）	：無線側の MAC アドレスが表示されます。
MAC アドレス（有線）	：ETHERNET ポートの MAC アドレスが表示されます。

[最新状態に更新]

表示を最新状態にしたいときにクリックします。

[チャネルの状態]

クリックするとチャネルの状態画面が表示されます。

【情報】－［チャネルの状態］

周囲の無線 LAN アクセスポイント（親機）のチャネル状態を表示します。

【リンク】

ホームページ AtermStation、お客様登録のページにリンクしています。
AtermStation では商品情報、資料請求、バージョンアップ、サポート情報など、Aterm について役立つ情報を掲載しています。

※お使いのモデムやルータ、およびパソコンの設定環境によってはリンク先に接続できない場合があります。

※インターネットに接続している場合のみリンク先に接続できます。設定時に DHCP サーバ機能を起動しているときは接続できません。その場合は、WL300NE-AG の IP アドレスをお使いのネットワーク環境に合わせて設定し、設定した IP アドレスでクイック設定 Web 画面を開いてください。（工場出荷時は、192.168.0.240 に設定されています。）

お願い

MAC アドレスを必要とするゲームアプリケーションをご利用の場合で、かつ、複数台の機器を接続する場合は、以下の手順で接続してください。
なお、接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）が拡張クライアントモードに対応している場合は、この手順での接続は不要です。

① 無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL300NE-AG の無線接続を確立する
② WL300NE-AG の無線クライアントモードを「MAC クローンモード」に設定する
(☛P4-3)
③ ゲーム機 1 台のみを WL300NE-AG の ETHERNET ポートに接続する
（接続はどのポートでもかまいません。）
④ WL300NE-AG の電源を入れ直す
⑤ ゲームアプリケーションを起動する

この手順後は、空いている ETHERNET ポートにパソコンやゲーム機を接続することができます。

お知らせ

●無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を使用している場合に、WL300NE-AG の無線クライアントモード（初期値：「拡張モード」）を「MAC クローンモード」にして利用するには、下記の手順で設定してください。
① らくらく無線スタートでの設定を行う。(☛P3-3)
② 無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング」の設定で、WL300NE-AGに接続するすべてのパソコンやゲーム機などのMACアドレスを登録する。
③ 無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を「使用する」に設定する。
④ WL300NE-AG の無線クライアントモードを「MAC クローンモード」に変更する。
(☛P4-3)

5 お困りのときは

5-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、WL300NE-AG を初期化し(☛P6-3)、初めから設定し直してみてください。初期化を行うと WL300NE-AG のすべての設定が初期値(☛P6-5)に戻りますのでご注意ください。

設置に関するトラブル

症　状		原因と対策
電源を入れたとき	POWER ランプが点灯しない	電源が入っていません。 ●AC アダプタが外れている →AC アダプタを電源コンセントに差し込んでください。 ●AC アダプタがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると WL300NE-AG に供給されている電源も切れてしまいます。 ●AC アダプタが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタをコンセントから外して別途示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご相談ください。
LINK ランプが点灯しない		●無線 LAN アクセスポイント(親機)と WL300NE-AG との間の無線状態が悪い場合があります。無線 LAN アクセスポイント(親機)と WL300NE-AG を近づけてみてください。 また、無線 LAN アクセスポイント(親機)と WL300NE-AG が近すぎても通信できない場合があります。この場合は 1m 以上離してご使用ください。 ●接続してある機器の電源は入れたままで WL300NE-AG の電源を入れ直してください。 ●設定に誤りがある場合があります。 ※どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。(☛P6-3)
WWW ブラウザの設定画面が表示されない		●パソコンと WL300NE-AG のネットワーク体系が異なっている可能性があります。 パソコンのネットワークの設定が「IP アドレスを自動的に取得する」になっていることを確認し(☛P3-7)、いったん電源を切って、らくらくスタートボタンを押しながら電源を入れてください。 ●Windows 8 の Internet Explorer10 でクイック設定 Web を起動する際、[このサイトではプライベートネットワークへアクセスできません] の画面(下記)が表示された場合は、[アクセスを有効にする] をクリックしてください。
WL300NE-AG が正常に動作しないが、原因がわからない		●設定に誤りがある場合があります。 ※どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。(☛P6-3)

通信に関するトラブル

症　状	原因と対策
通信できない	●いったん、WL300NE-AG の AC アダプタを電源コンセントから抜き、接続されているパソコンを終了させて、① WL300NE-AG →②接続されているパソコンの順に電源を入れ直してください。 ●ご使用の無線のネットワーク内で使用できる無線 LAN 端末（子機）は 10 台までです。10 台以下でご使用ください。 ●無線のネットワーク名（SSID）が間違っている。 無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL300NE-AG のネットワーク名（SSID）が同じことを確認してください。 ●暗号化の設定が一致していない。 無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL300NE-AG は暗号化キーが一致しないと通信できません。暗号化キーを確認してください。初期化すると暗号化が解除されます。 ●WL300NE-AG の設定が正しく行われていることを確認してください。（☛P3-3、P3-7） ●パソコンの IP アドレスが無線 LAN アクセスポイント（親機）から取得できていない。（IP アドレスを自動取得に設定している場合） →IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーをお使いのネットワーク環境に合わせて設定してください。設定は、P3-7の手順 1 ～ 5 で表示される［インターネットプロトコル バージョン 4（TCP/IPv4)］の［プロパティ］（Windows Vista および Windows 8/7 の場合）で行ってください。

本商品が接続しているネットワークのアドレス体系を確認する

本商品が接続しているネットワークのアドレス体系は、下記の手順で確認します。
ここで確認したアドレス体系を使用して WL300NE-AG を起動します。

Windows Vista および Windows 8/7 の場合

1 **［スタート］（Windows のロゴボタン）ー［すべてのプログラム］ー［アクセサリ］ー［コマンドプロンプト］をクリックする**

※Windows 8 の場合は、［スタート］画面上で右クリックして［すべてのアプリ］をクリックし、［アプリ］画面にある［コマンドプロンプト］をクリックします。

2 **「ipconfig」と入力して、［Enter］キーを押す**

3 **表示された IPv4 アドレスを確認する（画面例では、「192.168.1.3」）**

控え欄

（画面は Windows 7の場合の例です。）

Windows XP/2000 Professional の場合

1 ［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする

2 「ipconfig」と入力して、［Enter］キーを押す

3 表示された IP アドレス（IP Address）を確認する
（画面例では、「192.168.1.3」）

Mac OS X の場合

1 アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

2 ［表示］を［内蔵 Ethernet］にして、［TCP/IP］タブをクリックする

3 表示された IP アドレスを確認する
（画面例では、「192.168.1.3」）

控え欄

画面は、Mac OS X（v10.4 Tiger）を例にしています。上記 OS 以外をご利用の場合は、ご利用の OS マニュアルをご覧ください。

6 メンテナンス

6-1 *WL300NE-AG をバージョンアップする*

WL300NE-AG のファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、WL300NE-AG に新しい機能を追加したり、場合によっては操作を改善します。
WL300NE-AG のバージョンアップは、次の手順で行います。

1. **最新のファームウェアを別紙に記載のホームページからダウンロードする**
   ※ファイルが圧縮されている場合は、解凍します。
2. **WL300NE-AG のクイック設定 Web を起動する（☛P4-2）**
3. **「メンテナンス」－「ファームウェア更新」を選択する**
4. **「ファームウェア更新」の［参照］をクリックする**

5. **ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する**
6. **［更新］をクリックする**
7. **［OK］をクリックする**
8. **しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。1 分ほどお待ちください。」と表示される**
   ※バージョンアップの途中で電源を切らないでください。
9. **「再起動が完了しました。」と表示されたら［OK］をクリックする**

6-2 初期化する

WL300NE-AG に設定した内容を消去して初期値にします。WL300NE-AG がうまく動作しない場合や今までとは異なった使い方をする場合は、WL300NE-AG を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

クイック設定 Web で初期化する（☛ 下記）
RESET スイッチで初期化する（☛P6-4）

クイック設定 Web で初期化する

1 クイック設定 Web を起動する（☛P4-2）

2 「メンテナンス」の［設定値の初期化］を選択する

3 ［設定値の初期化］をクリックする

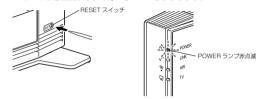
4 ［OK］をクリックする
本商品が再起動します。

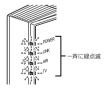
5 ［OK］をクリックする

RESET スイッチで初期化する

1 **WL300NE-AG の電源が入っていない場合は、電源を入れてから 30 秒以上待つ**

2 **WL300NE-AG の側面にある RESET スイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの。つまようじの先など。）で長押しして、POWER ランプが赤点滅を始めたら離す**

POWER ランプが赤点滅するまで約 6 秒～ 10 秒かかります。

3 **WL300NE-AG から AC アダプタのプラグをいったん取り外したあと、約 10 秒ほど待ってから再び差し込む**

4 **WL300NE-AG の前面のランプが一斉に緑点滅する**

5 **WL300NE-AG の POWER ランプが緑点灯すると初期化が完了する**

■ WL300NE-AG の初期値

WL300NE-AG を初期化すると、次のような設定になります。

設定項目		初期値
無線 LAN 設定	ネットワーク名（SSID）	未設定
	暗号化モード	WPA/WPA2-PSK（AES）
	暗号化キー	未設定
	無線クライアントモード	拡張モード
	送信出力	100%
ネットワーク設定	IP アドレス	192.168.0.240
	ネットマスク	255.255.255.0
管理者設定	管理者名	admin
	管理者パスワード	未設定

7

付録

7-1 製品仕様

■ WL300NE-AG 仕様一覧

項目		諸元および機能		備考
LAN インタ フェース	物理 インタフェース	8 ピンモジュラージャック （RJ-45）× 2 ポート		スイッチング HUB × 2 ポート
	インタフェース	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T		Auto MDI/MDI-X 対応
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps/10Mbps		
	全二重 / 半二重	全二重 / 半二重		
無線 LAN インタ フェース	IEEE802.11n	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）/1 ～ 13ch	
			[W52] 5.2GHz 帯（5,150-5,250MHz）: 36/40/44/48ch ※屋内限定	
			[W53] 5.3GHz 帯（5,250-5,350MHz）: 52/56/60/64ch ※屋内限定	
			[W56] 5.6GHz 帯（5,470-5,725MHz）: 100/104/108/112/116/120/124/128/ 132/136/140ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
		伝送速度＊ 1	2.4GHz 帯 5.2GHz 帯（W52）5.3GHz 帯（W53） 5.6GHz 帯（W56） [HT20] 130/117/104/78/52/39/26/19.5/13/ 6.5Mbps （自動フォールバック） [HT40] 300/270/243/216/162/108/81/54/ 40.5/27/13.5Mbps （自動フォールバック）	
	IEEE802.11a	周波数帯域 / チャネル	[W52] 5.2GHz 帯（5,150-5,250MHz）: 36/40/44/48ch ※屋内限定 [W53] 5.3GHz 帯（5,250-5,350MHz）: 52/56/60/64ch ※屋内限定 [W56] 5.6GHz 帯（5,470-5,725MHz）: 100/104/108/112/116/120/124/128/ 132/136/140ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
		伝送速度＊ 1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）	
	IEEE802.11b	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）/1 ～ 13ch	
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式	
		伝送速度＊ 1	11/5.5/2/1Mbps（自動フォールバック）	
	IEEE802.11g	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）/1 ～ 13ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
		伝送速度＊ 1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）	

項　目			諸元および機能	備　考
無線 LAN インタフェース	アンテナ		送信 2 ×受信 2（内蔵アンテナ）	
	セキュリティ		SSID、WEP（152/128/64bit）、WPA-PSK（TKIP、AES）、WPA2-PSK（TKIP、AES） ※ IEEE802.11n は WPA-PSK（AES）、WPA2-PSK（AES）のみの対応	
ヒューマンインタフェース	状態表示ランプ	POWER	電源通電時点灯	
		LINK	2.4GHz モードで無線 LAN アクセスポイント（親機）とリンク確立時緑点灯 5GHz モードで無線 LAN アクセスポイント（親機）とリンク確立時橙点灯	
		AIR	通信可能状態時点灯 データ送受信時点滅	
		TV	5GHz モードかつ拡張モードで無線 LAN アクセスポイント(親機）とリンク確立時	
		LAN 1 ～ 2	リンク確立時点灯 データ送受信点滅	
	スイッチ		らくらくスタートボタン× 1 RESET スイッチ× 1 5GHz/2.4GHz 優先接続切替スイッチ× 1	
動作保証環境			温度 0 ～ 40℃　湿度 10 ～ 90%	結露しないこと
外形寸法			約 34（W）× 133（D）× 98（H）mm	突起部除く
電源			AC100V ± 10%　50/60Hz	AC アダプタ使用
消費電力			6W（最大）	
質量（本体のみ）			約 0.3kg	AC アダプタを除く
VCCI			VCCI クラス B	

＊ 1：規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。

※　WL300NE-AG ではアドホック通信をご利用になれません。

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
（6）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

お願い

- **パソコン、TV、HDD レコーダーなどの設置や操作方法**などについてのお問い合わせは、**それぞれのサポートセンター**などへお願いいたします。
- **回線接続の条件**などについてのお問い合わせは、**ご契約の各通信事業者またはプロバイダ**へお願いいたします。
- **アフターサービス**については、**別紙**をご参照ください。

この取扱説明書は、古紙配合の再生紙を使用しています。

NEC アクセステクニカ株式会社
Aterm WL300NE-AG 取扱説明書　第 6 版

AM1-001273-006
2012 年 12 月